

相模女子大学 学内企業説明会にて募集広報

自衛隊神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 新妻昌晋1等陸尉）は、5月10日（金）、相模女子大学（相模原市南区）の学内企業説明会に参加し、相談ブースを設置して募集広報を実施した。

今回の説明会は、「自分のライフスタイルに合う働き方」をテーマに開かれたもので、自衛隊に関心を持ってブースへと足を運んでくれた学生に対し、広報官が自衛隊の活動や自衛官の採用制度、職種、勤務内容などに関する説明を行った。

来場した学生たちは、広報官の説明を、メモをとりながら熱心に聞いてくれ、特に「自衛隊の手厚い福利厚生や充実した私生活」の説明に興味を持ってくれたようだった。

広報官は、「自衛隊で自分にできる仕事があるのだろうか」、「特技や資格を生かせるだろうか」などの質問にも一つ一つ丁寧に回答し、説明を聞いた学生から「多種多様な任務があり、自分に合った仕事を見つけます」との声が聞かれるなど、自衛隊を就職先の選択肢の一つとして認知してもらったことができたようだった。

相模原地域事務所は、「今後も学校と密接に連携し、自衛隊の活動紹介を含めた募集広報を継続し、志願者の獲得及び防衛基盤の育成に努めていきたい」としている。



「第47回大和市民まつり」にて広報活動を実施

自衛隊神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 明神忠雄3等海佐）は、5月12日（日）、大和市で開催された「第47回大和市民まつり」に参加し、自衛官募集相談員と神奈川自衛隊家族会大和地区会の協力を得て広報活動を実施した。

当日は、大和駅からまつり会場の引地台公園までのパレードが5年ぶりに復活し、多数の参加者や来場者でにぎわう中、厚木募集案内所は、会場にブースを設置し、陸上自衛隊第4施設群の支援を受けて1/2トラックを展示したほか、自衛隊の活動パネル展示や迷彩服の試着体験などのイベントを実施した。自衛隊ブースでは、「緑色がいい」、「青色がいい」とそれぞれお気に入りの迷彩服を試着した子供たちの姿に保護者の方が「かわいい」と声を上げたり、展示車両の前で記念撮影したりするなど、自衛隊を身近に感じてもらえた様子で、帰り際に「頑張ってください」と声を掛けてくれる方もいて、広報官にとっても充実したイベントとなった。

また、会場には、神奈川地本のキャラクター「たま」も現れ、多くの人が手を振ったり、一緒に記念撮影をしたりして「はまにゃん」に負けない人気ぶりを見せていた。厚木募集案内所は、「今後も地域のイベントを通じて、地域に根差した募集広報と防衛基盤の拡充に努めていきたい」としている。



「たま」と参加者の記念撮影



地域住民との交流